

多様で個性溢れる町村の実現に引き続き注力

衆議院議長 大島 理森

本日、全国町村長大会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、全国各地で相次いだ地震、台風、豪雨などの自然災害により、お亡くなりになった方々に対しお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。また、一日も早い被災地の復旧・復興を成し遂げるために、昼夜を分かたず懸命の対応にあたられた地方自治体の皆様に衷心より感謝申し上げます。

現在、全国的に、人口減少や少子高齢化が進展しており、各地で集落機能や地域資源の維持・存続が急務となっております。こうした中で、それぞれの地域が自主性・自立性を大いに発揮して、その強みや資源を最大限に活用していくことが不可欠となっております。このような状況において、町村議会と協働しながら、常に先頭に立って地域づくりに取り組んでおられる町村長の皆様に、心から敬意を表します。

さて、町村の多くは農山漁村に位置しております。先月、全国町村会において、「これからの地域づくりと農村価値創生」と題する報告書を発表されたと伺いました。この中では「競う社会」から「共に創る社会」への転換といった新たな考え方も示唆されておりますが、衆議院といたしましても、こうした提言を参考にしながら、関係委員会等において審議や調査を進め、多様で個性溢れる町村の実現を期するために、引き続き注力してまいり所存です。

結びに、本大会のご成功とご列席の皆様方の一層のご活躍とご健勝をお祈りして、ご挨拶といたします。